

【中学生議会 自然環境を大切にすまち 市長答弁①】

質問区分	中学生議会	議員名	村田 裕哉	議員
発言順	NO : 16	所管課名	廃棄物対策	課

質問事項	◇ゴミの廃棄について
具体的な内容 (質問取り事項)	リサイクルされていないものを分かりやすくしたい。

【市長答弁】

村田（むらた）議員の質問にお答えをいたします。

家庭から排出されるごみの分別は、廃棄物の減量と資源化の推進にとって大変重要であります。

安曇野市の家庭から排出される「燃えるごみ」は、平成29年度は年間約13,429トンであり、その量は5年前の平成25年頃からほぼ横ばい状態であります。

また、資源物については市内大型店舗を中心として、古紙やペットボトル、容器包装トレイなどの店頭回収サービスを行う店舗が増えていることから、地域の資源ステーションやリサイクルセンターでの収集量は年々減少しております。

平成28年度の長野県の1人1日あたり各家庭などから排出される「ごみ排出量」は822グラムで、全国で一番少ない量です。

本市においては、県の排出量をさらに下回る786グラムとなっております。

しかし、燃えるごみの中には、まだリサイクルが可能な物が多く含まれております。

議員の提案のとおり、市では、分別方法を記した「ごみカレンダー

一」や「出し方の手引き」をよりわかりやすくなるよう改良を重ね、市民の皆さまの分別意識の高揚を図り、ごみの減量、資源化の推進に努めてまいります。

詳細は、担当部長より説明をします。

【中学生議会 自然環境を大切にすまち 部長答弁①】

質問区分	中学生議会	議員名	むらた ゆうや 村田 裕哉	議員
発言順	NO : 16	所管課名	廃棄物対策	課

質問事項	◇ゴミの廃棄について
具体的な内容 (質問取り事項)	リサイクルされていないものを分かりやすくしたい。

【市民生活部長答弁】

村田（むらた）議員の質問にお答えいたします。

私たちが使い終わったものを分別し、もう一度資源に戻して製品にするリサイクルは、多くの市民の皆さまの協力が欠かせません。

現在、市のリサイクル率は減少しているものの、市のごみや資源の収集運搬に係る費用は3億円を超え、また穂高クリーンセンターで燃やした後の灰を処理するのに、センター全体で8千万円もの額となっており、ごみの分別の徹底は大きな課題となっております。

市では、「家庭ごみ・資源物収集カレンダー」や「資源物・ごみ出し方の手引き」を作成し、分別の徹底と資源化の推進に努めておりますが、議員からご提案をいただいた“誰の目にもとまりやすい”ものは市民の皆さまのごみ減量に向けた意識を高めていただくうえで有効な手段だと考えますので、村田議員のご提案のポスターやパンフレットなどへのリサイクルの掲載について、どのように具現化し、活用できるのかを研究してまいります。

市では、ごみ減量化と資源化に向け、引き続き、地域に設置され身近に利用できる資源ステーションの整備・拡充を図り、併せて、広報紙やごみカレンダーなどを活用して、リサイクルの推進を図っていきたいと考えております。

【中学生議会 自然環境を大切にすまち 市長答弁②】

質問区分	中学生議会	議員名	<small>ももせかんとろう</small> 百瀬幹太郎	議員
発言順	NO : 17	所管課名	下水道	課

質問事項	◇汚泥の資源化について
具体的な内容 (質問取り事項)	汚泥からエネルギーや肥料を取り出したい。

【市長答弁】

百瀬（ももせ）議員の質問にお答えします。

ご提案がございました、『汚泥の再資源化』につきましては、田園産業都市を目指し、農業の盛んな安曇野市にとって下水道汚泥の再資源化と有効活用は地産地消の一助となりうる取り組みと認識しています。

ご承知のとおり、安曇野市における汚水処理は生活様式の向上や環境保全への観点から、平成2年度から下水道施設の整備を進めて参りました。

結果、公共下水道の普及率は91.8%（29年度末）に達し、公共用水域の水質浄化と生活環境の向上が図られてきています。

一方、水洗化の進展等に伴い、汚水量が増加し、汚水処理の段階で発生する汚泥は、年々増加しているのも事実です。

現在、汚泥資源化の取組は、汚泥から発生するガスのエネルギー利用と脱水汚泥の建設資材としての再利用であります。今後、化学技術等の進歩による肥料化も当然在りうる活用方法であります。

市と致しましても、汚泥資源化の動きに注視し、今まで以上に産業廃棄物の減量化に努め環境負荷の少ない循環型社会の形成と環境にやさしい安曇野市を目指して参りたいと考えます。

詳細は、担当部長より説明します。

【中学生議会 自然環境を大切にすまち 部長答弁②】

質問区分	中学生議会	議員名	<small>ももせかんたろう</small> 百瀬幹太郎	議員
発言順	NO : 17	所管課名	下水道	課

質問事項	◇汚泥の資源化について
具体的な内容 (質問取り事項)	汚泥からエネルギーや肥料を取り出したい。

【上下水道部長答弁】

百瀬（ももせ）議員の質問にお答えいたします。

まず、市の汚水処理、汚泥処理の状況ですが、市内で発生する汚水のほとんど、約93%が、長野県管理の、犀川安曇野流域下水道終末処理場『アクアピア安曇野』で処理されています。

ここでは、1日約25,000トンの汚水を処理し、10トン程の汚泥が産業廃棄物として発生しています。

現在の資源活用としては、発生汚泥を原料とした消化ガスを、発電エネルギーとして利用し、処理場の電気使用量の約3割を賄っています。

これにより汚泥が約40%減量され、臭いも軽減されます。

また、脱水した汚泥は、産業廃棄物としてセメント工場に処理委託し、セメント原料としてリサイクル活用を行っています。

質問にあります汚泥からリンを回収し農作物への肥料として地域に還元する体制づくりは、汚泥の有効利用としての貴重なご意見ととらえます。

ご指摘のとおり、下水道には多くのリンが流入していますが、その有効利用量は、1割程度に過ぎません。

その原因としましては、様々なリン資源化技術が開発されていますが、資源化のための施設建設費や維持管理費等のコストが嵩むこと。また、製品の流通等が課題です。

しかし、リンの全量を輸入に頼っている我が国においては、下水道汚泥をはじめとする各種の資源からのリン資源化が強く求められていることも認識し

ています。

今後、技術開発が進み、農業関係者等の需要者とも連携しつつ循環型社会の構築につなげていければと考えています。

【中学生議会 自然環境を大切にすまち 市長答弁③】

質問区分	中学生議会	議員名	やまだ まひろ 山田 真廣	議員
発言順	NO : 18	所管課名	環境	課

質問事項	◇絶滅危惧種の保護、特定外来生物の駆除
具体的な内容 (質問取り事項)	登山客などにパンフレットやマナーブックを配付する。

【市長答弁】

山田真廣（やまだ まひろ）議員の質問にお答えいたします。

山田議員も学習されてご存じのとおり、第2次安曇野市総合計画に「自然環境を大切にすまち」を基本目標の一つとしています。

この目標をより具体的に推進するため「第2次安曇野市環境基本計画」を定め、安曇野の豊かな自然と人が共存・共生するため、生きものや山岳地を守ることを個別の目標としています。

この中では、貴重な動植物の保全活動、外来生物の実態把握、登山ルールの遵守などに関する取り組みを定め実施しております。

近年、動植物の生息・生育環境の変化や気候変動などにより、キツネやカラスなどの人里の動物が高山帯まで分布を広げ、高山性動植物の採食や捕食問題が生じています。

また、一部の登山者によるルールの認識不足は、山岳環境の保全の弊害となりますので、ごみの持ち帰りなどについて、登山者のマナー向上を図っていくための啓発を進めていきたいと考えております。

山岳や自然環境の問題やルールやマナーについて、山田議員も、多くの皆さんへ伝えていただければと思います。

詳細は、担当部長より説明します。

【中学生議会 自然環境を大切にすまち 部長答弁③】

質問区分	中学生議会	議員名	やまだ まひろ 山田 真廣	議員
発言順	NO : 18	所管課名	環境	課

質問事項	◇絶滅危惧種の保護、特定外来生物の駆除
具体的な内容 (質問取り事項)	登山客などにパンフレットやマナーブックを配付する。

【市民生活部長答弁】

山田真廣（やまだ まひろ）議員の質問にお答えいたします。

市では本年度、5年に一度の安曇野市生きもの調査を実施しております。この調査は、身近な生きものや希少な生きもの、注意すべき生きものなどの66種類を対象に、市民の皆様から情報を集め、生息分布を把握するものです。

今回の調査と平成19年と24年に実施した調査を比較し、生息状況の変化を調べるとともに、この調査を通じて、市民の皆さんの生きものへの理解の向上を目的としています。

また、平成27年度からアレチウリやオオキンケイギクなどの特定外来生物に関するパンフレットを、毎年6月に全世帯に配布し、市民の皆さんへ普及啓発に努めております。

登山者へは、市内4か所の登山口に日本語や英語など5つの言語で「ごみはすべてお持ち帰りください」「野生動物にエサを与えないでください」など中部山岳国立公園の5つのルールを掲載した看板の設置や国立公園利用の8つのマナーを掲載した北アルプス山小屋友好会製作のパンフレットにより啓発しております。

山田議員のご提案である「登山者には入山時にパンフレットやマナーブック等を配る」につきましては、大変貴重な提案だと感じ、さらに研究してまいります。

山田議員も希少な種の保全や安曇野の生態系に悪影響を与える特定外来種の駆除にご協力ください、貴重な提案ありがとうございました。